

# 令和5年度生涯学習部研修会(飛騨地域)報告

日時：令和6年1月28日(日) 14:00~17:00

形式：WEB研修会（ZOOM使用）

テーマ：「疼痛緩和に向けたリハビリテーション」

講師：江草 典政先生（島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部）

参加人数：30人(スタッフ含む)

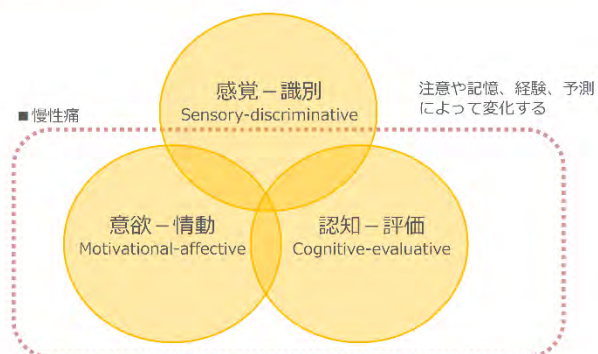
## 本日しっかり押さえるポイント

レクチャーのレベル感：初学者～中級者レベル

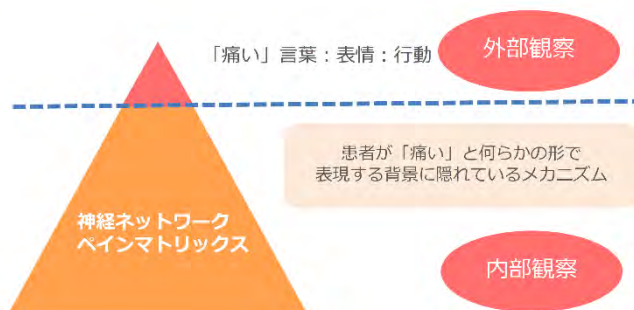
### 【Pre-Class アセスメント】

- 痛みを正しく説明できますか？
- 痛みを分析する3つの大きな視点を知っていますか？
- 痛みはどのような因子で影響を受けるか説明できますか？
- 痛みに対してどのような評価の視点をもつか5つ以上説明できますか？
- 痛みに対する理学療法士の関わりについて、打ち手をいくつか説明できますか？

## 痛みの多面性



## “痛い”の背景にあるもの



Key message

**痛みの意味と情動が  
“痛さ”を変化させる**

### 【江草 典政先生によるご講演資料】※講演資料より江草先生の許可を頂いて記載

本日の講義「疼痛緩和に向けたリハビリテーション」では、痛みの生理学的、心理学的側面について深く掘り下げました。中枢性感作や末梢性感作などの痛みのメカニズムに加えて、侵害受容性、神経傷害性、痛覚変調性の痛みの種類に関する知識も提供されました。

さらに、痛みの認知的・情動的側面が慢性化にどのように影響するかも重要なテーマでした。患者の痛み体験と認知方略を理解することが治療戦略の成功に不可欠であるという点が強調されました。

これらの知識を基に、今後は県内で痛みに関する学びを組織的に深める必要性を感じました。最後に、本研修会に尽力された江草先生と本部会のスタッフの方々に感謝の意を表します。

生涯学習部 田町 淳